

【取組内容】 家庭学習（音読）のデジタル化

事例のポイント

全学年が宿題として出している音読をデジタル化することで、児童それぞれの特性に応じた支援とする。

1. 取組の内容

児童の実態に合わせて、家庭での音読の様子を端末で撮影し、クラウド上に提出する。

① 対象:A児（場面緘黙児）

家庭においては話すことができるが、学校では声を出ることが難しく、教師が音読を聞くことはできない。

② 対象:B児

文字を読むことに課題があることに加え、家庭での学習習慣が身につけておらず、毎日音読をきちんとしているかどうか確認できない。

2. 取組の成果

- 児童の実態に合わせた支援の幅が広がる。
- 学校では声を出ることが難しい児童の音読を聞くことができ、フィードバックができる。
- 課題提出後、AIがすぐに分析し、正解率を出してくれるため、児童の音読意欲の向上につながる。

